

# 蘭岳

つなぐ力、動く力、人の力。

## Contents No.139



室工大が関わる民間等との共同研究等	1P・2P
男子寮「明德寮」の紹介	3P・4P
「サークル紹介」 居合・杖道サークル杖刀会 雪合戦部／柔道部	5P・6P
「特集」 ハラスメントのない大学を目指す	7P・8P



# 室蘭工業大学が関わる 民間等との共同研究等

室蘭工業大学は、道内の企業や地方自治体、研究所と共同研究を進めている。  
クレーンの荷振れ制御や耐摩耗性がある多合金鋳鋼素材、  
炭素繊維強化型炭化ケイ素複合材料の特性評価など、分野は多岐にわたる。  
地域貢献を進める大学として今後の取り組み、成果が期待される。

## ●平成30年度民間等との共同研究等一覧

研究題目	研究相手方	業種	ユニット・所属/教員名
製造技術分野 ① クレーンの荷振れ制御に関する研究	第一鉄鋼株式会社 北海道室蘭市輪西町2丁目9番1号 新日鐵住金株式会社 棒線事業部 室蘭製鐵所 北海道室蘭市仲町12番地	製造業	■電気通信システムユニット しくみ情報系領域 准教授 梶原 秀一
製造技術分野 ②	株式会社 三五北海道 北海道苫小牧市真砂町41番地2	製造業	■機械工学ユニット もの創造系領域 講師 松本 大樹
ナノテクノロジー・材料分野 ③ 耐摩耗性・多合金鋳鋼材料の研究開発	株式会社アールアンドイー 北海道登別市富浦町223-1	その他	■機械工学ユニット もの創造系領域 教授 清水 一 道
ナノテクノロジー・材料分野 ④ 特殊鋳物における熱処理条件の検討	株式会社 北海道特殊鋳鋼 北海道岩見沢市栗沢町497-3	製造業	■機械工学ユニット もの創造系領域 教授 清水 一 道
ナノテクノロジー・材料分野 ⑤ 家庭用温水セントラル給湯暖房システムにおける銅製部品の腐食に関する研究	北海道ガス株式会社 技術開発研究所 北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目3-1	電気・ガス・水道業	■航空宇宙システム工学ユニット もの創造系領域 准教授 境 昌宏
ライフサイエンス分野 ⑥ 低コスト・簡易な道路舗装点検システムの開発	室 蘭 市 北海道室蘭市幸町1番2号	国、地方公共団体、 独立行政法人、 その他公益法人等	■社会基盤ユニット くらし環境系領域 講師 浅田 拓海
製造技術分野 ⑦ 高層マンション用手摺り支持材の強度研究	清水サッシ 株式会社 北海道江別市工業町番地2番地6	製造業	■環境建築学ユニット くらし環境系領域 教授 溝口 光男
製造技術分野 ⑧ レーザ加工を利用した自動車部品用金型の長寿命化技術の開発	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 北海道札幌市北区北19条西11丁目	国、地方、その他 公益法人等	■機械工学ユニット もの創造系領域 講師 長 船 康 裕
製造技術分野 ⑨ 金属3D造形による実用金型製造のための加工・熱処理プロセス技術の開発	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 北海道札幌市北区北19条西11丁目	国、地方、その他 公益法人等	■機械工学ユニット もの創造系領域 講師 長 船 康 裕
製造技術分野 ⑩ 新規脱水素触媒及び水添触媒の開発	株式会社フレイン・エナジー 北海道札幌市西区琴似2条4丁目1-24	製造業	■物質化学ユニット くらし環境系領域 准教授 神田 康晴
その他 ⑪ 炭素繊維強化型炭化ケイ素複合材料の特性評価	株式会社 NITE 北海道室蘭市宮の森町1丁目1-35-802	その他	■先進マテリアル工学ユニット もの創造系領域 准教授 朴 峻 秀
社会基盤分野 ⑫ ロックシェッド・落石防護擁壁の性能照査型設計法確立に向けた研究	株式会社 構研エンジニアリング 北海道札幌市東区北18条東17丁目1-1	建設業	■社会基盤ユニット くらし環境系領域 講師 栗 橋 祐 介



# 未来あすの輝きへ

室蘭工業大学 男子学生寮

# 明德寮

室蘭工業大学の男子学生寮「明德寮」。  
2010年度(平成22年度)に全面改修された  
4階建てで、毎年6月に開かれる名物「赤フン行列」など  
歴史あるイベントが残る名物寮だ。  
今、古い寮につきものの旧時代的なイメージを  
払しょくし、生活しやすい寮となるよう寮生自身が  
積極的な制度改正に乗り出している。

## 希望と期待が 膨らむ寮生活

現在、明德寮には留学生を含め室工大の約10人に1人の約300人の学生が生活している。1室約15畳の3人部屋が中心で、それぞれ机や椅子、ロフトベッドが用意されたユニットでプライバシーは確保されている一方、共有スペースもあるため同部屋の仲間という意識も高まる。複数学年が相部屋となるのは2年生以降であり、1年生は1年生同士で相部屋になるよう調整している。



札幌市出身の平瀬孝明さんは応用理化学系学科2年。今年5月から寮長に就任した。「寮費は金銭的に負担が少なく、一人暮らしで不安な時も、周りの寮生が助けてくれます」と利点を語る。自宅から持ってきて

てよかったものは電子レンジ。「寮に調理部屋はありますが、テスト期間などは店で弁当を買ってくることも多いです。レンジは各階に1つずつありますが、混み合うことが多いので部屋にあると便利です」と笑う。



## 社会観 と 人間観

寮祭実行委員長の孫入匠さんは建築社会基盤系学科3年、当初寮に入る気は無かったという。しかし両親から人間関係を勉強してこいと言われ入寮した。「人とのつ

ながりを持つことが重要だと改めて感じました。地域の方とのつながりが生まれたことで、視野や行動範囲が広がり、社会人としてのマナーやルールを学ぶこともできました。そうした点でも、先輩・後輩とともに寮で暮らすことは何よりの財産となっています」と力を込める。



明德寮 寮長  
建応用理化学系学科2年  
ひら せ たか あき  
平 瀬 孝 明

寮祭実行委員長  
建築社会基盤系学科3年  
そん にゅう たくみ  
孫 入 匠

## 躍動、結集、絆。



寮のイベントとしては4月の新入生歓迎会、6月の明德寮祭がある。「今年の赤フン行列は例年より少なかったのもっと参加者を増やしたいですね」と意気込む平瀬寮長。しかし赤フン行列への抵抗から入寮をためらう学生もいると感じ、その点について聞いてみると「同学年でも赤フンやだなという人もいますので、そうした声があることは理解できます。でも、経験せずあれこれということに意味は無いです。お世話になっているShanシャン共和国の方々にも『今年の赤フンよかったよ』と言われると励みになります」と語る。体育会系のノリが苦手な人もいるため強制ではない。寮歌の練習も金曜日から土曜日に変更した。

「他大学の自治寮を視察する話も出ていますし、寮生が楽しい学生生活を送るため、寮則の改定を含め思い切った改革に取り組んでいます。これからも学生による『自治寮』という形が残せるよう、頑張っていきます」と語る平瀬寮長、孫入実行委員長。寮生活がよりよく、充実したものとなるよう学生自ら取り組む姿勢に感銘を覚えた。



## 居合・杖道サークル 杖刀会

室蘭工業大学の居合・杖道サークル杖刀会(森谷秀平部長、18人)は、さまざまな学生が集い、居合と杖道に日々取り組み、肉体と精神の鍛錬に励んでいる。

昨年4月の設立。3年ほど前に、阿部将大さん(4年)ら学生2人が室蘭市内の道場で見学に行ったところ、同大の川村志麻准教授が杖道の稽古を行っていた。意気投合した3人は同好会としてスタートさせた。

居合道は模擬刀を用いて決められた型をこなす。杖道は2人1組で木刀と棒を使い、形を行う。同会では居合いが15人、杖道が7人。男女比は男性15人、女性6人。

森谷部長は、高校の先生が居合道をしていた。「大学に入ったらやってみよう」と思っていたところ、友人から同好会の存在を知り、入会した。

入会当初は全くの素人。基本動作どころか「正座ができませんでした」と苦笑いする。ただ、練習を重ね、8月に初段から2段に昇格した。

普段は週4回、外部から講師を招き、練習を重ねる。稽古中は厳格な雰囲気があるが、模擬刀を持つ学生の目は真剣そのものだ。居合は自分



室蘭工業大学 杖道サークル 杖刀会  
部長 森谷 秀平



自身を仮定の敵に見立て形を行う。敵が動き出した所で刀に手をかけ、立ち上がって刀の柄のみぞおちを狙う動きなどがある。

森谷部長の目標は将来的に最高段位の8段。「刀という道具に魅力がある。最初は肉体的につらかったですが、楽しく稽古できています。形の美しさも魅力ですね」と笑顔を見せる。

「回数を重ねると上手になる。体力がなくてもできるので、まじめな人ややってみたいという人であればいつでも見学に来てほしい」と呼び掛けている。



# 雪合戦部 男子 月光 女子 飛鳥

室工大サークル紹介 No.2



室蘭工業大学雪合戦部(最上祐介部長、29人)は、毎年2月の昭和新山国際雪合戦に向け、日々練習を重ねている。前年度は女子の飛鳥が優勝、男子の月光が3位の輝かしい成績を取っている。雪合戦の試合では、1チーム7名で、相手チーム全員に雪球を当てるか、相手コートにフラッグを抜いたチームが勝ちとなる。練習は週3回。室蘭工大の体育館かテニスコートで行っており、

過去にも女子は優勝、男子は3位になるなど、優勝争いの常連チームだ。

「高校の部活の延長として『勝ち』を目指して取り組んでいる」と最上部長は部の意識の高さを感じている。自主練習を行うなど、各部員が精度を高めていく。入部してくるのはほぼ未経験の学生たち。練習を重ねていき、国際大会でも優勝争いができるようになる。最上部長も野球部出身だが、スポーツとしての雪合戦は未経験だった。「相手に充てるのが難しい。ただ、練習を通して技術は身につけていく。心配はいらぬですよ」と笑顔を見せ、「雪玉を当てたときの爽快感がたまりません」と最上部長は強調する。

男女比は、男子20人、女子9人。部員同士は仲も良く、飲み会やバーベキューを行い、親睦を深めている。OB、OGも多く、たくさんの人たちのサポートも得ている。「次の大会も男女で優勝したい」と意気込む。「興味のある学生であれば歓迎する。気軽に見学に来てほしい」と呼び掛けている。

# 柔道部

室工大サークル紹介 No.3

室蘭工業大学柔道部(上林拓馬部長、17人)は毎年8月に開催される全国国立工業大学柔剣道大会での上位入賞を目標に、体育館2階の武道場で練習の日々を送っている。顧問の<sup>えびす</sup>戎修二先生も同大柔道部OBということもあり、心強いという。



「昨年は団体戦2位、個人戦でも3位入賞を果たすことができました。有望な下級生が入ってくれたので今年はさらに上を目指します」と部長。1、2年生3人は全員2



室蘭工業大学 柔道部  
部長 上林 拓馬

段を持つ有段者で、5月には札幌市内で開催された大会で、初出場ながら優勝する実力者ぞろいだ。

練習は週3、4回。その際は基礎練習、特に型を確認する「打ち込み」を重視。OBの本村宏文さんも2週間に一度指導してくれる。上林部長は「OB会の方々は何かと手助けしてくれて元気を付けてもらっています」と感謝を忘れない。練習の最後は打ち込みで固めた技を実践形式で技を試す「乱取り」を行う。この時点で全員汗びしょりだ。上林部長はこのほかにマシントレーニングによる筋力アップなど個人練習にも取り組んでいる。8月の大会は体重別ではなく無差別での戦いのため、最低でも3分間3試合分を戦えるだけの筋力があるからだと考えているからだ。しかし、補助トレーニングはあくまでも選手の自主性に任せている。部長は「一番大切なのは柔道を楽しむことです」と笑顔を浮かべた。

# STOP!! ハラスメント



ハラスメントで困っているとき、悩んでいるとき、友人・同僚から相談を受けたとき等は相談員に安心してご相談ください。**プライバシーは厳守します。**

室蘭工業大学ハラスメント相談員一覧			
武田 明純	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3252 <a href="mailto:akira.takeda@ipc.nitech.ac.jp">akira.takeda@ipc.nitech.ac.jp</a>	清末 愛砂	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3476 <a href="mailto:aisawa.asahi@ipc.nitech.ac.jp">aisawa.asahi@ipc.nitech.ac.jp</a>
平井 伸治	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3336 <a href="mailto:shinpei.hirai@ipc.nitech.ac.jp">shinpei.hirai@ipc.nitech.ac.jp</a>	山路 奈保子	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3487 <a href="mailto:naeko.yamichi@ipc.nitech.ac.jp">naeko.yamichi@ipc.nitech.ac.jp</a>
太田 勝久	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3729 <a href="mailto:katsuhisa.ota@ipc.nitech.ac.jp">katsuhisa.ota@ipc.nitech.ac.jp</a>	笹川 鉄馬	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3277 <a href="mailto:tetsuma.sasagawa@ipc.nitech.ac.jp">tetsuma.sasagawa@ipc.nitech.ac.jp</a>
酒井 彰	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3244 <a href="mailto:sho.sakai@ipc.nitech.ac.jp">sho.sakai@ipc.nitech.ac.jp</a>	岩野 和彦	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3222 <a href="mailto:kazuhiko.iwano@ipc.nitech.ac.jp">kazuhiko.iwano@ipc.nitech.ac.jp</a>
中根 英章	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3244 <a href="mailto:hideaki.nakane@ipc.nitech.ac.jp">hideaki.nakane@ipc.nitech.ac.jp</a>	千代 恒弥	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3224 <a href="mailto:tsunehisa.chikage@ipc.nitech.ac.jp">tsunehisa.chikage@ipc.nitech.ac.jp</a>
曲 明	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3227 <a href="mailto:akira.kamiya@ipc.nitech.ac.jp">akira.kamiya@ipc.nitech.ac.jp</a>	三田村はるか	室蘭工業大学学生センター（学生生活支援部）- 専任 01743-44-3222 <a href="mailto:haruka.mitsumura@ipc.nitech.ac.jp">haruka.mitsumura@ipc.nitech.ac.jp</a>

室蘭工業大学ハラスメント防止委員会

〒648-8501 室蘭市南条 1-1-1 TEL: 01743-44-5218 E-Mail: [ipchase@ipc.nitech.ac.jp](mailto:ipchase@ipc.nitech.ac.jp)

## お心当たりは、ありませんか？ サマザマハラスメント

ハラスメントのない大学を目指し、

室蘭工業大学では、ハラスメント防止に関する規則を設け、

教職員や学生が被害者にも加害者にもならないように環境整備を進めている。

ハラスメントのない大学をを目指す

同大では、今年7月、アカデミック・ハラスメント(アカハラ)とセクシュアル・ハラスメント(セクハラ)で教員2人が停職6カ月などの処分を受けている。快適で安心して勉強できる環境をつくるため、ハラスメント対策は急務になっている。

学生が直面する可能性が大きいハラスメントは、アカハラ、セクハラ、パワー・ハラスメント(パワハラ)、アルコール・ハラスメント(アルハラ)。

セクハラは教職員から学生、学生同士で起こる。異性が嫌う言葉を言う、ストーカー行為や授業以外での接触などが上げられる。女子学生の比率が増えているが、男女が同じ環境で学べるように配慮が必要だ。

アカハラ、パワハラは主に教員から学生に及ぼす場合が多い。教育や研究、修学での不利益や損害を与え、地位や権限を利用して不利益を及ぼす言動を差す。

学生にとって一番注意しなければいけないのはアル

ハラだ。教員と学生、学生同士で起こり、主に飲酒の強要や一気飲みの強要、意図的な酔いつぶし、飲めない人への配慮不足、迷惑行為などが上げられる。場合によっては民事や刑事責任を問われる場合もある。

同大のサークルでは、未成年の学生がいる場合は、「飲酒をしない」旨の誓約書を大学に提出しなければならない。また、入学時から学生には繰り返しアルコールの危険性を周知している。

大学によっては敷地内での飲酒を禁止しているが、室蘭工大では禁止には至っていない。未成年が出席する席ではアルコールは提供しない必要がある。

「学生は何がハラスメントに該当するのか、知らない場合も多い。万が一、被害にあった場合は、大学には相談員がいるので、思い切って相談してほしい。今回の処分事案については、もちろん学生が声を上げたからである」と同大のある教員は指摘している。



# ハラスメントのない 大学を目指す



精神科医・臨床心理士  
准教授 田所重紀

田所重紀准教授は精神科医・臨床心理士として、保健管理センターで学生や教職員のメンタルヘルス相談を行っている。学生からの相談は進路の悩みや人間関係などさまざま。卒業生からも相談を受けることがある。近年多いのは教員とのトラブルだ。田所准教授は、アカデミックハラスメントを防ぐためにも「悩みは自分だけで抱え込まず、まずは相談を」と呼び掛けている。



ひとりじゃない。

相談では、怒りや悲しみといったマイナスの感情を取り除くのではなく、感情を引き受けた上で活かすことを念頭に置く「森田療法」の考えをベースにしている。森田療法は今から百年前、ドイツのフロイトとほぼ同時期に日本の精神科医、森田正馬もりた しょうま(1874~1938)が独自

に開発した精神療法。「西洋的な感情の見方とは異なる東洋の歴史や伝統の中で育まれた人間への洞察が含まれており、より日本人にあったアプローチができる」と田所准教授は意義を語る。

## 森田療法の試み

思い切って相談を

趣味は合気道と能。日本文化に興味があるという。「日本人は西洋人に比べ感情表現が乏しく、『能面のような表情』と言われる。しかし、能の世界を知ると面の角度を少し変えるだけでさまざまな感情を表現していることがわかります。日本人は感情表現が乏しいのではなく、細かいのです。そうした細かさを理解するには、西洋的なアプローチよりも森田療法が適していると思いますね」

# 図書館でできること

## 豊富な蔵書!

工学系の図書だけでなく、文庫・新書、小説、雑誌など様々な本があります。また、ウェブで蔵書や電子ジャーナルの検索ができます。



## グループで勉強できる!

1階はオープンエリア、グループで相談しながら勉強できます。2階のグループ学習室も活用してください。



## 図書館で語学力UP!

語学検定は、自分のがんばり次第でスコアアップが可能です。TOEICをはじめ、留学を目指す方のためのTOEFL・IELTS関連図書もあります。継続は力なり!!



## 好きな場所でPC作業!

PCロッカーからノートPCを借りられます。ひとりでもグループでも、館内の好きな場所でPC作業ができます。(写真右がPCロッカーです)



## 最新情報はウェブ、Facebook、Twitterで!

図書館の最新情報はウェブでチェック!ぜひ「お気に入り」「いいね!」「フォロー」に加えてください。



Web <http://www.lib.muroran-it.ac.jp/>  
 facebook <http://www.facebook.com/MuroranIT.lib>  
 twitter [http://twitter.com/MuroranIT\\_lib](http://twitter.com/MuroranIT_lib)

## 図書館のゲートは学生証で通ることができます

## 保健管理センターからのお知らせ

保健管理センターでは、健康で快適な学生生活が送れるように様々な支援を行っています。お腹が痛い、熱がある、捻挫した、虫に刺された、やる気がわかない、大学を辞めたい...など、心や身体のことでお困ったとき、学業の悩みや人生の相談など気軽に利用してください。

### 利用時間

平日(土・日・祝日は休館)9:00~17:00

12:00~13:00はお昼休みのため閉館しています。緊急時はお声かけ下さい。

### \*カウンセリング\*

月・木曜日(10:30~15:30)予約制

TEL (0143)46-5855

E-MAIL hac@mmm.muroran-it.ac.jp

HP <http://www.muroran-it.ac.jp/medic/>

### 主な利用内容

初期診療	健康相談・カウンセリング
健康診断証明書の発行	定期健康診断
禁煙相談	各種測定機器の利用

\*診療は医師が担当しています。(出張や授業などで不在の場合もあります)  
 \*利用料、薬代等の料金はかかりません。  
 \*相談内容の秘密は守られます。匿名での電話相談にも応じます。

室蘭工業大学  
保健管理センター  
ホームページ



## 定期健康診断

大会館で実施します、詳細はピロティに掲示します。



大学構内には複数のAEDが設置されています。定期的にAED講習会を実施しています。  
\*詳しくはホームページをご覧ください。

## 「水元」の由来

## 蘭岳コラム まちとともに

室蘭工業大学がある室蘭市水元町。この「水元」はイタンキや輪西、祝津といったアイヌ語由来の地名ではなく、その土地の歴史を込めた地名だ。

2013年(平成25年)10月の広報むろらんでは、水元町の由来について「日本製鋼所の貯水池から分水し、室蘭市街への水道の水源となった」との記載がある。貯水池、水源地から「水元」の地名が生まれたということだ。

水元町は貯水池の例を見るまでもなく水資源に恵まれた土地だ。工大構内にも湧き水があり今も学内で活用している。1980年(昭和55年)と83年の水害時には鉄砲水の影響で水道が使えなくなった市民が湧き水を求めて大学を訪れたという。このほか大学に隣接する公園でも湧き水が出ており、工大生と市民連携組織が公園を市民の憩いの場として復活させようと取り組んでいる。

水をアイヌ語では「ワッカ」という。かつて登別市中登別町はおいしい水が湧くことから「カモイワッカ」と呼ばれていた。伊達市の若生町も清水の湧く場所として知られている。

水元にアイヌ民族の集落があったら名前が変わっていたかもしれない。